

各位

佐世保重工業株式会社

2024年3月期 第2四半期決算に関するお知らせ

1. 2024年3月期第2四半期決算状況（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績

（%表示は対前年度同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,984	19.6	408	—	549	342.7	479	92.4
2023年3月期第2四半期	5,839	△49.5	△40	—	124	—	249	—

（2）事業部門別売上高

（%表示は対前年度同四半期増減率）

	修繕船部門		機械部門		その他		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,398	22.8	1,322	12.8	263	△2.6	6,984	19.6
2023年3月期第2四半期	4,396	17.5	1,172	13.5	270	△7.1	5,839	△49.5

（注）百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当第2四半期の概況

当第2四半期連結売上高は、前年同期比1,145百万円（19.6%）増の6,984百万円となりました。

主力事業の修繕船部門の売上高は、国内艦艇に加えて探査船およびLNG運搬船などの大型修繕工事に積極的に取り組んだ結果、前年同期から1,002百万円（22.8%）増加し5,398百万円となりました。昨秋に大型船建造ドックを修繕船との併用ドックに改造した第4ドックは、要員の育成・強化も進み、弊社の修繕船事業に大きく寄与しております。

機械部門の売上高は、主力製品である船用主機クランク軸ならびに鍛鋼軸類や船用主機関用連接棒の拡販に努めたことから、前年同期から150百万円（12.8%）増加し1,322百万円となりました。

損益面では、機械事業において主要原材料であるインゴット価格の高騰に苦慮したものの調達先の多様化や営業努力により改善されつつあること、修繕船事業において修繕船併用ドックを活用した各種修繕船の積極的な取込みにより売上高が増加したことなどにより、当第2四半期連結営業利益は408百万円（前年同期は40百万円の損失）、連結経常利益は、配当収益の計上等により549百万円（前年同期は124百万円の利益）、連結当期純利益は479百万円（前年同期は249百万円の利益）となり、大幅な増収増益を達成しました。

以上のとおり、当第2四半期の業績は順調に進捗しており、引き続き修繕事業の強化を図るとともに新造船市場の好転に伴い期待される機械事業の収益拡大による安定収益体制の構築に努めてまいります。なお、本年5月に公表しました通期連結業績予想値（売上高136億円、営業利益4億円、経常利益4億円、当期純利益4億円）に現時点では変更ございません。

以上

【問い合わせ先】

佐世保重工業株式会社
経營業務部 川口、藤本
(0956-25-9111)